

社会福祉法人 小さい共同体
理事長 小石 恵子 殿

平成26年度 監査報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

平成27年5月11日

監事 沖田 悌司郎

監事 長谷川 智一

この度、26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の財務諸表と事業報告書等について監査した結果について、下記の通りご報告致します。

1. 業務監査

- ・毎月1回のレク行事を計画している。レク毎に利用者のリーダーを決め、リーダーが中心となってミーティングを重ねながら実施していることは自主性の涵養と社会性の開発を促進している。レク活動が利用者相互の親近感や一体感を醸成し、利用者と職員間のコミュニケーションも円滑になり、楽しい作業所となっている。
- ・7月末に実施した宿泊研修は無事終了し、今後のレク行事に自信をもって取り決める状況にある。
- ・自主開発事業として展開している「アルミ缶回収」や「ダンボールの回収等」は宿泊研修における他作業所の取り組みを参考にしている。近隣の商店等の協力を得て、回収事業は順調に推移し、工賃アップに貢献しつつある。

2. 会計監査

- ・財務諸表は監査の結果、適正に処理されており、特に指摘すべき点は見当たらない。
- ・全般的には順調に推移しており、長期借入金の返済も計画通りに実行でき、完済した。
(平澤氏に関連する支払は除く)
- ・当初予算の想定外であった弁護士費用、裁判所費用、部外講師による指導料等のため業務委託費が不足している。職員退職金共済加入に伴う掛け金も新たに必要となった。
- ・授産支出において、パソコン教室開設に必要な利用者用のパソコンを購入したため、消耗品等の支出超過となっている。これは、パソコン教室の希望者増加に伴い、追加購入したためとのことである。